

共同利用機器 講習会
核磁気共鳴 (NMR) 装置

(VARIAN社製 400-MR, NMR SYSTEM 600, JEOL 600 MHz)

☆自己測定ライセンス試験(実技)の受験には本講習会の受講が必須です。

【装置概要】 有機合成, 天然物抽出等で得られた溶液サンプルの分析測定にご利用頂けます。
(測定可能核種: ^1H , ^{13}C , ^{19}F , ^{15}N ~ ^{31}P の周波数帯に有る核種)

【講習会概要】 「安全講習と機器使用における注意事項」

安全講習を中心に初心者向けの装置の取り扱いと測定上で注意しなければならないこと、NMRのローカルルールまで、NMRの初歩の内容を講義します。

本年度春季にライセンス取得を希望する方は必ず受講して下さい。

【開催日時】 今年度春季の講習会は Teams で行います

: 4月27日(水) 16:00~ 約1時間を予定しています

上記の日程で都合が悪い方は、別途対応しますのでご連絡ください

【申込方法】 下記申込問合せ先に、氏名、所属、身分(学年)、メールアドレス(必須)をメールでご連絡下さい。
期間が短くて申し訳ありませんが、参加人数把握とTeamsのアカウント送付のため、4月26日(火)までにご予約をお願いします。

装置の使用に関してはライセンス取得資格を設定していますので、あらかじめご確認ください。

【申込問合せ先】 自然生命科学研究支援センター 分析計測分野
本件担当: 砂月幸成
sunatuki@okayama-u.ac.jp (内線 7833)



講習会受講後に実施するライセンス試験の受験資格について

- ☆ 今年度はユーザー試験は行わず、研究室内認定でライセンスを認定することといたします。
- ☆ ライセンスの取得資格について以下に記載していますので、ご確認ください。

【ライセンス取得資格について】

ライセンス取得希望者は講習会受講後、別途連絡するMoodleを受講して下さい

装置ごとのライセンス 対象者

JEOL装置

- ・原則として博士後期課程の大学院生以上。これまでにNMR 測定の経験があり、Lock機構やShim を理解しているなど装置に習熟し、差し支えなく操作ができること
- ・博士前期課程の学生の場合は「博士後期課程進学予定者で指導教員の推薦が得られる者」あるいは、「これまでの測定総時間数が100 時間以上など、NMR 測定に精通しており、指導教員の強い推薦が得られる者」に限る。
- ・薬学部薬学科の学生は該当学年の大学院生と同等として扱う。

Agilent (Varian) 装置

4年生以上。（400 MHz, 600 MHzの区別はありません）

Varianの装置に関しては400 MHz、600 MHz の垣根は廃止されました。研究グループ内で教員によるプローブチューニングの講習・指導を責任をもって行っていただければ600 MHz の装置も使用できます。講習会への参加も不要です。

新規ライセンス取得希望者に対する測定トレーニングは、講習会の受講後から始めて下さい。また、トレーニング中はコロナウイルス感染症防止のガイドラインに留意して下さい

【問合せ先】

自然生命科学研究支援センター 分析計測分野

本件担当：砂月幸成

sunatuki@okayama-u.ac.jp

(内線 7833)

